



一人はみんなのために みんなは一人のために




磯海岸から望む朝焼けに包まれる桜島

CONTENTS

- P2 山下院長 新年あいさつ
- P3 川上医師の紹介・部門紹介～外来
- P4・P5 対談シリーズ「生活困窮者のいのちを地域で守るために」
(吉見医師) × (西 MSW) × (瀬戸山 MSW)
- P6 地域の開業医からの紹介～はやし内科クリニック
- P7 第1回地域連携懇談会の報告
- P8 健康まつりの紹介・2019年1月医師体制



 鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院



院長
あいさつ
message



国分生協病院院長 山下 義仁

明けましておめでとうございます。

新病院ができて早くも1年もの月日が経ちました。おかげさまで立ち上がりの大事な時期を無事に乗り切ることができました。これもひとえに先生方のお力添えの賜物と大変感謝申し上げます。

昨年は地域連携を深めるための企画を2回開催させていただきました。まずコメディカルの方々を対象とした学習会を開きました。7月に慢性腎不全をテーマに、6医療機関、10施設、3訪問看護ステーションから56名のご参加を頂きました。

また、9月にはホテル京セラで地域医療懇談会を開催させていただき、36医療機関から31名の先生方をはじめ69名の方々にお忙しい中、足を運んでいただきました。始良地区医師会副会長の岩谷先生から当院への期待等をお話し頂きました。当院の医師とご列席頂いた先生方との顔の見える関係を多少なりとも築くことができたのではないかと思います。9月にご紹介頂いた数は147名でしたが、10月には234名ものご紹介をいただきました。先生方の期待の表れであり、当院の医療内容を知っていただく努力が不足していることを痛感致しました。

先の医療懇談会では、紹介したいのに予約がいっぱいだった、満床で転院を断られた等のご指摘も頂いています。今年は、先生方からのご紹介を遅滞なくお受けできる様、体制を整え、入院も即日ないし翌日にはお受けできる様ベッドを準備したいと思います。「国分生協に紹介したらなんとかなる」と言って頂けるように努力していきます。本年もよろしくお願い致します。

地域を守る医師を目指します

新任医師の紹介



川上 翔平
かわ かみ しょう へい

①出身地

鹿児島出身です。両親の転勤の都合で、鹿児島県内を転々としてきました。

②これまでの勤務内容

鹿児島生協病院では、総合内科・救急部として、日勤帯は常に救急外来で勤務していました。救急外来での患者診察がメインの仕事ですが、ICU や一般病棟の患者様の主治医業務も担当し、また月に2回は鹿児島市立病院の嘱託医として、ドクターカー・ドクターヘリでの業務も担当しています。

③霧島・始良地区の印象

霧島・始良地区自体の印象という、昔に比べると都市開発が進んできて、すごく住みやすくなって羨ましいなあというところですか。おでんの掌、やきとりの大政があるところが特に好きです。

④地域の開業医の先生方へ

国分生協病院での勤務は、初期研修医1年目の時に3ヶ月、2年目の時に2ヶ月、研修にきて以来となります。医師としてのスタートを後押ししてもらった病院だと思っているので、今回、4ヶ月という短い期間ですが、支援に来ることができてとても嬉しく感じています。研修医時代に比べると、できることも多少は増えていると思いますので、みなさんの力になれるよう頑張ります。救急疾患の対応や、重症患者の病棟管理などはある程度勉強していますが、それ以外のところはまだまだこれからです。国分研修期間中にさらにたくさんのお話を学んでいきたいと思っています。お手柔らかにお願いします!!!

部門紹介

外来 ～患者さんの思いに寄り添えるように～



当院の外来は1日平均260名ほどの患者さんが来院します。診療科は内科、小児科、外科の3つの科で、定期訪問診察も行っており、現在40名ほどの管理をしています。また、近隣の在宅療養支援診療所と連携を図り、在宅療養支援連携病院の役割を担っています。昨年の新築移転後は、外来化学療法や禁煙外来と新たな取り組みも行いながら、引き続き急性期病院として24時間・365日、救急対応(月平均の救急搬入は80台前後)や急患の診療を提供しています。

現在、外来は看護師22名、事務1名の体制になっています。新築移転して広くなり、あらたな役割も加わり、医師・看護師・事務、他職種と協働・連携し安心して安全な検査や診療、治療を受けて頂けるように患者さんの思いに寄り添っていきます。今後ともよろしくお祈りします。



地域からの期待に応えられる
病院を目指します。



対談シ

生活困窮者
地域で

地域連携担当医

吉見 謙一



瀬戸山：現在の地域連携室の業務内容について教えてください。

西：当院では、地域の医療機関、施設との連携窓口として、2013年7月に「地域連携室」を設置しました。現在、MSW(医療ソーシャルワーカー)3名で業務を担っています。主な業務内容としては、①地域からの外来受診・入院紹介の連携、②医療機関・居宅介護支援事業所、施設等からの相談窓口③外来・入院患者からの医療相談、転院・施設入所相談④広報活動(広報誌作成、懇談会・学習会開催)になっています。地域の

先生方、専門職の方々、当院に関する問い合わせ等に関しては、ぜひ窓口として使って頂ければと思います。

瀬戸山：③の医療相談に関して、地域に知ってほしい特徴的な活動があれば、教えてください。

西：私達は、民医連の病院であり、「無差別平等」に地域住民に医療を届けられるように様々な活動を行っています。その中で、生活困窮者のいのちを守るために、2015年3月に霧島市で初めて「無料低額診療事業」の届出を行いました。当事業は、生活困難な方が経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されないことがないように、病院が医療費の自己負担分の全額又は半額を負担し、医療を提供する事業になります。利用希望の方は、私達MSWと面談を行い、申請書類の提出後、可否の判断をさせていただきます。対象者の基準としては、生活保護法による生活扶助+住宅扶助の概ね150%以下の収入の方となります。

国分生協病院は「無料低額診療事業」に取り組んでいます。

～医療費の支払いでお困りの方へ～

患者さんが経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されないことがないように、窓口負担を無料又は低額で診療を行う事業です。社会福祉法に基づき、都道府県の許可を得た病院やクリニックが実施しています。

ご相談のある方は、国分生協病院医療相談窓口(受付横)までご連絡下さい。

☎0995-45-3206



地域連携室メンバー集合写真

受診抑制を防ぐために、
あらゆる制度をご案内します。

リリース

のいのちを守るために

地域連携室 MSW 主任

西 健太

地域連携室 MSW

瀬戸山 澄香



瀬戸山：この制度は、生活保護が優先になりますが、生活保護が適応にならない方で医療費の支払いに悩んでいる生活困難者を救う制度ですね。地域の開業医の先生方にもぜひ、知ってもらいたいですね。実際の適応人数はどのくらいいますか。

西：2018年11月現在で、62件の相談があり、21件の認定に結びついています。ただ、無料低額診療事業の認知が地域的にも乏しいため、今後も行政、地域の医療機関・施設などに更なる周知を行い、一人でも多く経済的な不安から救い出したいと考えています。

瀬戸山：経済的困窮者の受診抑制は、地域全体で考えるべき問題ですね。そういった意味でも、日ごろからの地域連携は大切です。先生は今後、地域連携を深める中で、当院の役割はどのように考えていますか。



MSWによる相談風景

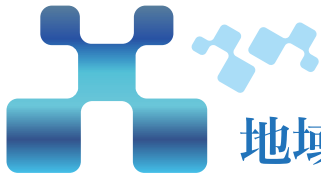


第1回地域医療懇談会の様子

吉見：私達国分生協病院の役割として、①組合員のかかりつけ医機能を保つ②組合員と街づくり・健康づくりを進める③地域で平和や社会保障を守っていく④地域と連携して、急性期を守っていくことが求められていると考えています。この4つの役割をしっかりと保つために、地域の医療機関の先生方を中心とした職員のお力添えの上、そして地域からの期待に応えられる病院を目指していきます。

瀬戸山：地域から支えられている病院であることを改めて実感しますね。私達も病院の窓口として今後とも連携を取らせて頂きたいと思っています。最後に、地域の開業医の先生方へメッセージをお願いします。

吉見：日頃から大変お世話になっています。今後、この霧島・始良地域の医療・介護を協力・連携して守っていきましょう。当院への問い合わせ等ありましたら、ぜひお気軽に地域連携室までお願いします。



地域の開業医の先生方より

～ はやし内科クリニック～

はやし内科クリニック 院長 林 大輔



1 当院の紹介

当院は、糖尿病を専門に診療を行っておりますクリニックです。2016年4月に国分湊に開院いたしました。

糖尿病の診療は、治療薬のみならず、食事療法、運動療法がとても大切で、とくに食事については、当院では、ゆるやかに糖質の摂取を抑えることを推奨しています。

血糖の推移は、食事と密接な関係があります。しかし、食事は毎日の楽しみでもありますので、これをコントロールするのが、とても難しいところです。

血糖値を良くすることだけにとらわれず、できるだけ糖尿病合併症を起こさず、健康な状態で、かつ食事の楽しみも味わいながら過ごすことを念頭におきながら、患者様一人ひと

りに合った診療を行っています。

血糖コントロールに難渋されている患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

2 当院からみた国分生協病院

クリニックで行う診療には、設備的、人力的に限界があり、当院の場合ですと、糖尿病合併症（虚血性心疾患、慢性腎臓病など）の精査、加療は、どうしても専門家のご意見を賜らなければならず、国分生協病院様には、急性期医療、慢性期医療ともに多大なコンサルトをさせていただいており、求めにも快く応じてくださるので、とても頼りにしております。これからも、連携にご協力いただけますことを望んでおります。

3 今後の当院の展望

現在、院内でスタッフ向けに「The糖尿病・塾」という情報紙を、院長が執筆し、不定期に発行しています。これを1～2年ほどかけて50回分ほど作成し、通常の教科書には書いていない、かつエビデンスに基づいた診療の要のようなものを作り上げて、院内の診療レベルの向上に努めたいと思っております。

また、地域のみなさんに対しても、日常に役に立つ健康情報の講話を、これからも行っていきたいと思っております。

引き続き、連携のほど、よろしくお願い申し上げます。



第1回地域医療懇談会 開催

当院では、近隣医療機関への医療活動紹介・意見交換を含む地域連携強化を目的に2018年9月19日（水）に、第1回国分生協病院地域連携学習会を開催しました。霧島・始良、鹿児島を含む36医療機関から69名（医師31名、看護師20名、事務その他18名）、院内参加者24名、計93名の参加となりました。

今回の内容としては、当院地域連携担当医吉見謙一医師より当院の医療活動紹介、国分外科胃腸科外科岩谷真宏院長より地域医療の課題について講演頂いた上で、参加者にて、「霧島市地域医療の連携、向上」について、意見交換を行いました。その中で、時間外の急性疾患の紹介先等、地域連携を行う中での課題を参加者同士で意思一致することができました。また、今年度より医師体制が大きく変更した「当院の腎臓内科の紹介」を腎臓内科担当医の町元利文医師よりCKDの定義、血液透析、腹膜透析療法について講演を行い、今後も多くの紹介を頂くことを参加者にお願いしました。その後は、食事を交えながら、職種間を超えて懇談を行いました。日頃の業務では、なかなか顔の見えない中での連携であるため、今回の懇談会を通して「顔の見える関係」の構築につながったと思います。

参加した開業医からは、「霧島市でこのような懇談会はほとんどないため、継続してほしい。地域の開業医からすると、このような場で顔を合わすことで、連携につながりありがたい」「参加することで、医療機関の情報を把握しやすい懇談会だった」等の好評な声を頂くことが出来ました。

今回の懇談会をきっかけに、参加された医療機関同士の地域医療連携が向上することを期待し、今後もこのような懇談会・学習会を開催したいと思います。

参加頂いた医療機関の方々、ありがとうございました。引き続き、当院との連携の程よろしく願います。



吉見医師による講演の様子



意見交換会の様子



懇談の様子

国分生協病院新築移転 1周年記念 健康まつりを終えて

健康まつり 実行委員会

去る2018年11月24日健康まつりを開催しました。

昨年は開院前ということで、駐車場を全面開放しての開催でしたが天候にも恵まれ1500名を超える多くのご来場者をしていただくことが出来ました。ご来場いただいた皆様大変ありがとうございました。

模擬店ではカレーや野菜の直売などを実施し大盛況となりました。

ステージでも認定こども園のダンス合・合奏や高校の書道パフォーマンス・吹奏楽、組合員の有志による合唱などを行い多くの歓声をいただきました。

また、中庭では医療生協活動の一環である健康チェックを実施し、今回は減塩料理の試食コーナーも設置しました。試食したもののレシピが掲載されているレシピ集もたくさんのかたにお買い上げいただきました。

地域の皆様に支えられて1周年を迎えることが出来ました。今後とも皆様方とともに発展していけたらと思っております。



舞台発表の様子



医師による健康相談

2019年度医師体制のお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。さて、2019年1月の医師体制が固まりましたので、お知らせさせて頂きたいと思っております。

敬 具

2019年 1月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	一般内科 (8:45~12:00)	榎田祐一	吉 見	榎田祐一	榎田祐一	吉 見	榎田祐一	
	専門 外来 (8:45~11:00)	循環器	吉 見	柴 田	吉 見	吉 見		吉見(第2)
		呼吸器	山 下	榎田祐一	隈 元		榎田祐一	山下(第1・4)
		消化器・肝臓		小坂元	長 谷		長 谷	長谷(第2・4)
		腎・膠原病	町 元	吉 峯		町 元		
		神経内科				高 畑		
	外 科 (9:30~12:00)			税 所		税 所		
小児科 (9:00~12:00)	酒 井	交 替	酒 井	酒 井	【一般+特診】 森田(第1・2・3・5) 玉江(第4)	交 替 2週目休診		
午後	内 科	予約のみ 14:00~16:00		山下(禁煙外来)				
		15:00~17:00	榎田祐一	榎田祐一		久 保	久 保	
		予約のみ 15:00~17:00				高畑(神経内科) 長 谷	山 下	
		17:00~18:30	交 替	交 替		交 替	交 替	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00		(14:00~16:00) 交 替 ※予約制・予防接種+健診		(14:00~15:30) 酒井 ※予約制・予防接種のみ	(14:00~16:00) 予約のみ 特診(第1・2・3・5) →森田 腎特診(第4)→玉江 ※(森田のみ14:00~17:30)	
		16:00~18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)			(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話 (0995) 45-4806 FAX (0995) 45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>